

川崎市介護支援専門員連絡会 御中

介護支援専門員 各位

高齢者とペットに関するアンケート調査へのご協力について（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

超高齢社会が進む我が国において、高齢者にまつわる問題は様々ありますが、その中の一つに「ペット飼育」の問題があります。入院時にペットの面倒をみてくれる人がいない、認知症でペットの世話ができなくなった、施設入所に伴いペットを手放さなくてはならないが譲渡先が見つからない等、ペット飼育に対する不安や実質的な問題を抱えている高齢者は少なくありません。また、状況が深刻化してから問題が発覚し、周囲が困ってしまうというケースも散見されます。

そこで、私どもは、高齢者が愛するペットと共に最期まで生き生きとした生活を続けていけるためのサポート・システムのあり方を検討し、最終的に、高齢者とペットの両者の福祉が守られるサポート体制モデルを提案することを目的として、研究調査を行っています。そのサポートのあり方については、高齢者が在宅のまま最期までペットと暮らす場合と、ペットと共に入所できる高齢者施設(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、特別養護老人ホーム等)で生活する場合の2通りが考えられますが、本アンケート調査では特に前者の場合に焦点を当て、介護支援専門員の皆さまに現状と課題についてお尋ねし、問題の未然防止および早期発見・早期対応のための糸口を見出す一助とさせていただきたく思っております。

つきましては、大変ご多忙のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、本調査は「高齢者と伴侶動物の福祉を連携させるサポート・システムの構築」との課題研究名にて、科学研究費助成事業（科研費）により助成を受けて研究を実施しています。また、研究代表者の所属する横浜国立大学は川崎市と連携・協力に関する協定を締結しており、本研究調査はその協定に基づき川崎市からのサポートを得て実施しています。

横浜国立大学 高大接続・全学教育推進センター
准教授 安野 舞子

横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8

E-mail: yasuno-maiko-cb@ynu.ac.jp

【本アンケート調査に関するご説明】

- アンケートはインターネットでのご回答をお願いしています。パソコンやタブレット、スマートフォンにてお答えください。
- アンケートは10分程度で回答できるものになっております。
- アンケートでは、介護支援専門員の皆さまが担当されている利用者の方のペット飼育の有無、ペットを飼育している場合の利用者の方の特徴、相談の有無、相談内容、実際にお困りになったこと等についてお伺いしています。なお、ここでいう「ペット」とは、犬と猫に限定させていただきます。
- アンケートは無記名で実施されます。ただし、このアンケート調査の結果を踏まえて今後さらにインタビュー調査を実施したく思っておりますので、そのインタビューにご協力いただける方は、お名前とご連絡先（メールアドレス）をお書きいただけますと大変有り難く存じます。お名前、ご連絡先をご記入いただく欄はアンケートフォームの最後に設けられています。ご記入いただいた情報は、調査研究の目的にのみ利用し、取り扱いには十分気をつけますので、どうかご安心ください。
- アンケートで得られた情報は、調査の目的以外には使用されません。回収されたデータは厳重に保管し、調査終了後、5年間保管した後は速やかに破棄いたします。
- 調査結果は川崎市に報告し、今後、学会等でも発表いたします。データは統計的に処理して発表しますので、ご協力いただいた皆さまの個人が特定されることはありません。

以上のことにご承諾いただき、アンケートにご協力いただける場合は、下記の URL もしくは QR コードから回答ページにアクセスしていただき、ご回答をお願いいたします。本調査についてご不明な点等がございましたら、下記の研究代表者までご連絡いただけますよう、お願いいたします。

【研究代表者および連絡先】

所属機関：横浜国立大学 高大接続・全学教育推進センター

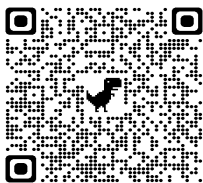
研究代表者：安野 舞子

連絡先（E-mail）：yasuno-maiko-cb@ynu.ac.jp

【回答ページ】

URL: <https://forms.gle/JS9u2SiRnnVgkkXq7>

QR コード:



【回答期限】

令和3年12月25日（土）23時59分まで